

令和3年12月13日



豊殿小にお世話になって2年目になりますが、地域の方々の学校への思いと言うか、大切にしてくださる気持ちに、いつも頭が下がります。

過日行われた「打ち上げ花火大会」も、様々な面でご協力をいただいたのですが、この週末も、地域のまちづくり協議会と、がんばり応援団の方々が学校の庭木の手入れをしてくださいました。

休日の朝から11名の方々にお集りいただき、職員玄関周辺と中庭をさっぱりと、きれいにしていただきました。4時間ほどの作業を、本当に黙々と、しゃきしゃきと動いていただき、見違えるほどさっぱりとした環境へと変身させていただきました。

(まあ、それにしても皆様お元気で。休みという休みもないくらい動き通っしでした。私など、大して働いていないのにへろへろでした)

「子どもは地域の宝」という言葉を何度となく耳にしますが、ここ豊殿は“本当に子どもたちを、そして学校を本当に愛してくれているんだなあ”とつくづく思います。

今週、全校の子どもたちにやっていただいた作業を紹介して、みんながいかに地域の方々に大事にされ、愛されているのかを伝えていきたいと思います。

自分の知らないところで、自分たちのために動いてくださる方々がいること。その見えないものに思いを馳せ、感謝できる「おかげさま」の心を子どもたちに育んでいきたいです。



【お・お・おもしろい】



休み時間の会話です。

A君「先生、歯が抜けたんだよ」

私「見せてみ。大人の歯？」

A君「うん」

私「大人の歯は、虫歯になったら、もう新しい歯は生えてこないから、虫歯にならないように気を付けてくださいよ」

A君「大丈夫。だってね、小さいチョコしか食べていないから」

私「ええ〜!小さいチョコなら虫歯にならないのお!？」

A君「そうだよ」

A君よりながーく生きてきましたが、「小さいチョコが虫歯になりづらい」とは…。この発想がおもしろく、愛らしいのです。